

SMASSEプロジェクトではプロジェクト活動の質の向上を目的として、モニタリング評価タスクフォースを設置しています。このタスクフォースには、モニタリング評価専任のスタッフがいるわけではなく、各教科スタッフによる兼任となっています。また2002年4月より業務量増加による専任者の必要性から長期の日本人専門家が派遣されています。

本プロジェクトの活動はプロジェクト開始時に設定されたPDM(Project Design Matrix)をもとに実施されています。プロジェクトでは2000年10月に中間評価が行われ、その際にPDMの見直しが行われました。これによりプロジェクトの成果を定量的に評価していく必要性が認められたため、モニタリング評価タスクフォースが設置されることになりました。

モニタリング評価に使用するツールは、プロジェクトにて独自に開発されたもので、現在13種類あります。ツールの開発と結果の分析についてはケニア人スタッフ、日本人教科専門家をメンバーとするタスクフォースを中心に行われましたが、熊本大学教育学部助教授の中山玄三先生には3度にわたり短期専門家としてケニアに来ていただき、多くの貴重なアドバイスを頂きました。

プロジェクトの評価は次の5項目について行われています。

1. INSET参加者の態度変化
2. 教科内容理解度、教授法
3. 教育と学習の質
4. INSETの質
5. 財務のモニタリング

上記の中でも本プロジェクトは現職教員再訓練(INSET)を中心に行われていることから、研修の質を評価する(1)INSET参加者の態度変化、(4)INSETの質の評価が、プロジェクト活動の質の向上のために重要です。また、プロジェクトのインパクトを評価する(3)教育と学習の質の評価は、研修の成果が教室レベルで実践されているかを評価するものとして大変重要です。

13種類の評価ツールは、次の3種類に分類できます。

1. INSET評価(中央、地区INSET)
  - セッション評価
  - INSETの質評価
2. INSET参加者評価
  - 事前・事後INSET評価(態度変容度)
  - 教科内容理解度・教授法評価
3. 教室レベル評価(インパクト評価)
  - ASEI/PDSI評価
  - 授業観察評価
  - 生徒参加度評価
  - 到達度テスト

これらのツールを使用して、プロジェクトの評価を行っています。

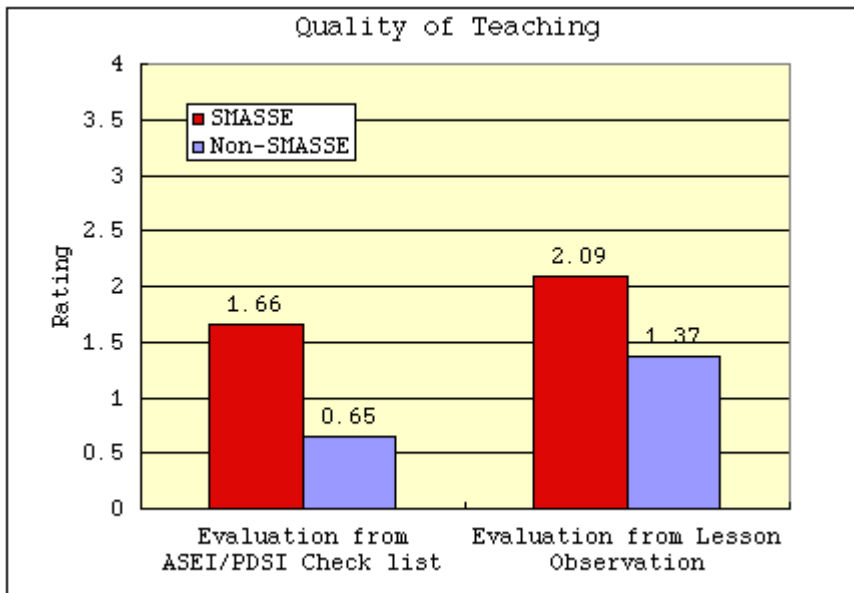
それではここでいくつかの具体的な評価結果をあげてみましょう。

研修開始前と終了時における参加者の態度変化について、事前、事後研修評価の結果を下表に示します。これによると研修前後で数値の変化(増加)が見られ、参加者の研修後の態度が向上していることが認められます。また第4回事前評価の結果は、第3回事後評価の結果より下がっており、研修の成果をより効果的にしていくには継続的な取り組みが必要であるといえるでしょう。

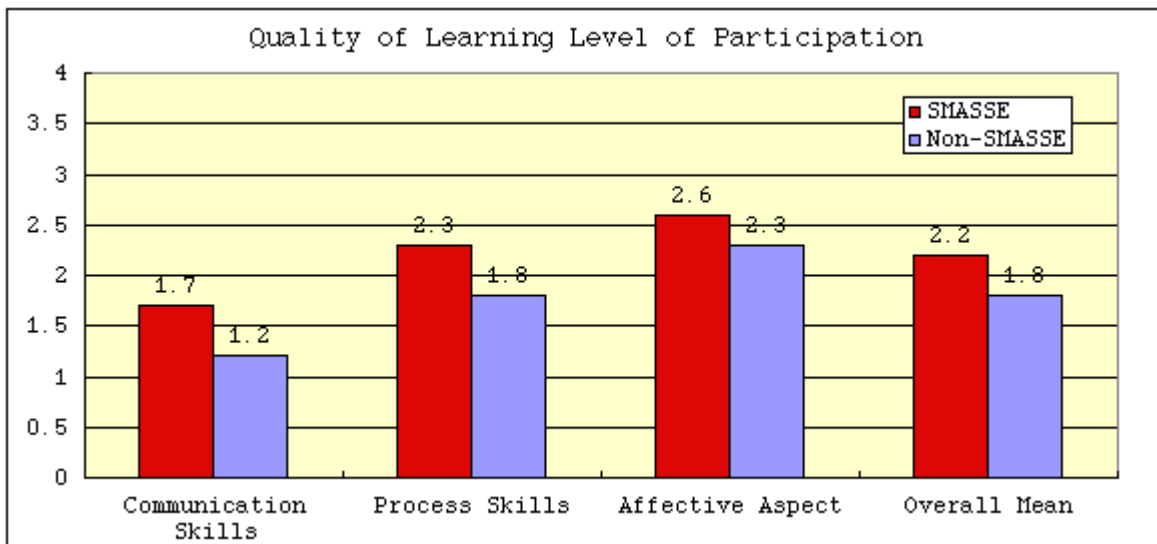
表1. 研修事前、事後評価結果(最小値0、最大値4)

中央研修	第3回研修(2001)		第4回研修(2002)	
	事前評価	事後評価	事前評価	事後評価
参加者平均	2.9	3.4	3.1	3.5

教育の質について教室レベルでの評価の結果を下図に示します。図は2種類の質問紙を使用した観察法による評価結果ですが、プロジェクト対象地区(SMASSE)と非対象地区(NON-SMASSE)で大きな差が認められます。これより教室レベルでのプロジェクトの効果が認められますが、絶対値自体は1.66、2.09と低いものであり、教室レベルでの実践のためには、今後もよりいっそうの活動が必要であるといえるでしょう。



教室レベルにおける学習の質を評価した生徒の授業参加度評価の結果を下図に示します。これによるとプロジェクト対象地区(SMASSE)と非対象地区(NON-SMASSE)で差が認められますが、絶対値自体は2前後と低いものとなっています。ASEIアプローチのS(Student-Centred)を教室レベルで実践していくためには、グループディスカッションやHands-onアクティビティーを取り入れた授業を行うことが効果的であり、この点についての研修を強化していくことが今後必要になってくるでしょう。



今後SMASSEプロジェクトは、ケニア国内への全国展開に向け動き出します。プロジェクトのモニタリング評価については、全国展開に向けた全体的な評価デザインやモニタリング評価手法の確立、新ツールの開発、ツールの簡素化と信頼性向上が必要になってきます。また評価者の訓練等を通じたモニタリング評価タスクフォースの強化も必要になってきます。SMASSEプロジェクトのモニタリング評価は、プロジェクト活動の質の向上のために、今後も進化し続けることでしょう。